

---

# その手に触れて。

犬養るびい

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

その手に触れて。

### 【Nコード】

N4610R

### 【作者名】

犬養るびい

### 【あらすじ】

イスラエルちゃんとエジプトさんのお話です。  
もしかしたらすぐ消すかも知れません。

## （前書き）

不快に思われた方はすみません。

泣くのは恥ずかしいことじゃない。

—なんて、

綺麗事だわ。

かつてそう、彼女は言った。

どんなに辛い痛い悲しい憎い悔しい事があっても涙を流すのを許されなかった彼女たちにとって、

その励まし言葉は侮辱にすら聞こえたのかも知れない。

畜生のように虐げられる仲間達を尻目に、それでもなお逃げ続けなければならなかった。

「人」でないゆえ、自ら命を絶つことすら許されなかった。

身も心もずたずたになりながら辿り着いたあの地、

その富んだ「国」の主にも、覚悟を決めた彼女はこう頼んだのだ。

「お願いします！！

力を貸して下さい！！

あたしを、

『国』にして下さい!!」

――  
そうして独立を果たし今の家に腰を落ち着けてからも、決して生活が楽になった訳ではなかった。

近所の国達と戦争になったこともあつたし、文化の違いからあまり話も出来ない。

いつの間にか、彼女の方から周りに距離を置いていた。

「っ……」

その時の彼女の心境は、さながら1人暗闇の中にしゃがみ込んでいるようだった。

虚無感。

1人、ここに居るのは寂しい。

何とかしなければと思うのに、何も出来ない自分が悔しい。

静寂にひとり、耐える日々。

泣きたい気持ちを押さえ込んで、また怒った表情を作った。

そんな時だった、

―彼に出逢ったのは。

突如、暗闇に響いた足音に、彼女は警戒を示す。

「誰よ、あんた…」

顔を上げた。

視線の先に映った姿を見て、彼女は驚く。

「彼」のことは、彼女も少し知っていた。

しかし、こんなに近くではその時が初めてだった。

彼が彼女を見下していたわけでも、嫌悪の目で見ていたわけでも無かったためだ。

これまで彼女が向けられたことの無かったような、ただただ優しいげな、穏やかな眼差しで、彼女を見ていただけだったためだ。

彼は言った。

「そう警戒する事はないよ。私は貴女を傷つけに来たのでは無いか

ら」

見ればわかった。

彼は、彼女の眼の位置に合わせて膝を折り、ずっと右手を差し出した。

「もし良かったら、

貴女と私で同盟を組みましょう、

—— イスラエル」

言葉が出なかった。

暫く、動く事が出来なかった。

同盟を組む。

あたしが。

他の、国、と。

彼女の視界を滲ませるそれが涙であると気付くまでに、ほんの少し時間がかかった。

イスラエルは、震える手で相手の差し出した右手を取る。

そうして2人はゆつくりと立ち上がった。

瞬間、涙を堪えきれなくなったイスラエルを見て、  
彼―エジプトは彼女の背に腕をまわした。

その日は、彼女が初めて他人に感情をさらけ出した日。

## （後書き）

テスト後の開放感に任せ、ついにやってしまいました。  
ちなみに今日は作者は学校が休みです。

紳士なエジプトさんを書いてみたかったんですが、果たして上手く行ってるのかな。

不快に思われた方はコメント下さい…消します。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4610r/>

---

その手に触れて。

2011年10月8日19時10分発行